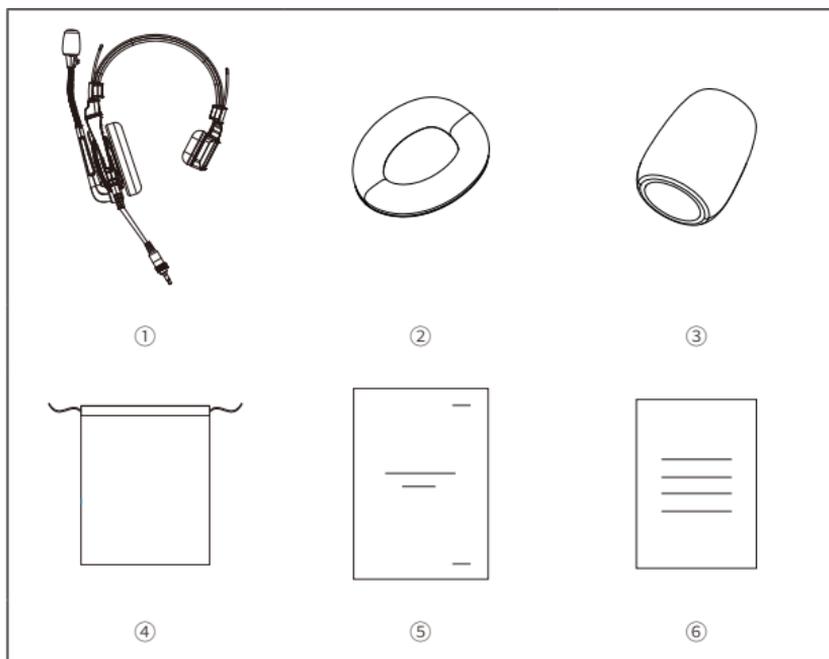


Solidcom C1 HUB 用 Hollyland ヘッドセット

取り扱い説明書
V1.0.0

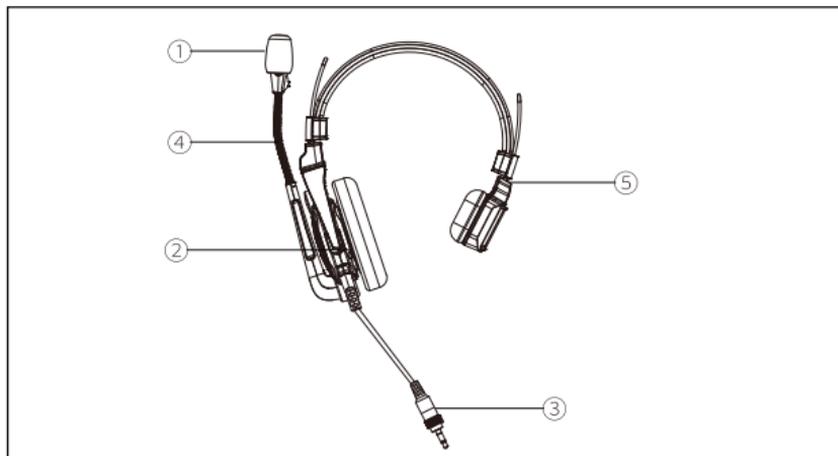
同梱物リスト



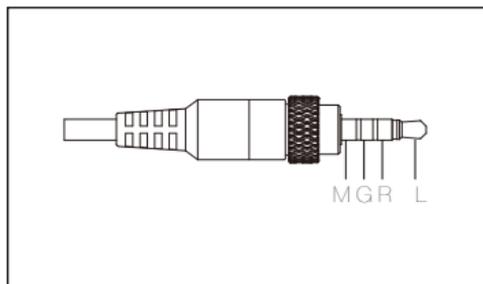
① ヘッドセット	1
② 密閉型レザークッション	1
③ マイククッション	1
④ 収納ポーチ	1
⑤ 取り扱い説明書	1
⑥ 保証カード	1

ご注意：バージョンによっては同梱物の数が異なる場合があります。

製品インターフェース



- ① マイク
- ② スピーカー
- ③ ヘッドセットジャック
- ④ マイクブーム
- ⑤ 調整式ヘッドバンド



3.5 mm ヘッドセットジャック
ジャックの定義:M G R L



Solidcom C1 ヘッドセットを取り付ける：

- ① ヘッドセットをハブベースの 3.5mm ポートに差し込み、ナットを時計回りに回してヘッドセットを固定します。
- ② 「カチッという音が聞こえるまでマイクブームを下へ動かして通話できるようになります。
- ③ 自分の声をミュートして相手の声だけを聞きたい場合は、「カチッ」と音がするまでマイクブームを上へ動かすと、マイクがミュートに切り替わります。

スペック

種類	モノーラル
ケーブルの長さ	約 61 インチ (1550mm)
周波数に関する情報	スピーカー:100Hz ~ 10kHz マイク: 100Hz ~ 10kHz
歪率	< 1%
マイク感度	-38 ± 4 dBV @1kHz、94dB SPL
マイクの種類	エレクトレット (単一指向性)
インピーダンス	スピーカー: $32 \Omega \pm 15\%$ @1KHz 1mW マイク: 最大 2.2k Ω
重量	約 6 オンス (170g)
動作温度	0 ~ +45°C (稼働時) -10 ~ +60°C (保存時)

安全上の注意事項

バッテリーの過熱や破裂を防ぐため、製品を加熱装置（電子レンジ、IH 調理器、オーブントースター、電気ヒーター、電気圧力鍋、給湯器、ガスコンロを含むがこれらに限定されない）の近くまたは内部に置かないでください。純正品以外の充電ケース、ケーブル、バッテリーは絶対に使用しないでください。純正品以外のスペアパーツを使用すると、感電、火災、破裂などの事故を引き起こす可能性があります。

サポート

製品の使用中に何か問題や助けが必要な場合は、下記の技術サポートをご連絡ください。

-  Hollyland User Group
-  HollylandTech
-  HollylandTech
-  HollylandTech
-  support@hollyland-tech.com
-  www.hollyland-tech.com

宣言文：

すべての著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., LTD に帰属します。

商標に関する宣言文：

Shenzhen Hollyland Technology Co., LTD の書面による許可がない限り、いかなる組織または個人も、本文の内容の一部または全部をコピー、転載、またはいかなる形式でも、この文書の内容を伝えることはできません。

いかなる団体または個人も、この記事の一部または全部を無断で複製または転載することを禁じます。この記事の無断転載を禁じます。

注意：

製品のバージョンアップグレードやその他の理由により、この取り扱い説明書は不定期に更新されます。本文書は、別段の約束がない限り、使用ガイドとして提供します。本文書のすべての記述、情報、および推奨事項には、明示的または黙示的な保証はありません。

FCC 要件

規制順守責任者より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本製品を操作するユーザーの権利が無効になることがあります。本製品は、FCC (米国連邦通信委員会) 規則第 15 条の内容に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件を満たす必要があります。

- (1) 本製品が有害な干渉を引き起こさないこと。
- (2) 本製品は望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉受信を受容しなければならないこと。

FCC 放射線曝露声明

本製品はテスト済みで FCC SAR 制限に適合しています。

注意：

本製品は、FCC 規則のパート 15 に基づきテストされ、クラス B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉を防ぐために、合理的なレベルの保護を提供することを意図しています。本製品は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、および放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。また、特定の設置状況において干渉が発生しないという保証もありません。本製品がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合 (機器の電源をオフおよびオンによって判断することができます)、以下の手段の一つ以上を適用してそれに対応するよう推奨されます：

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の離隔距離を大きくする。
- 機器を受信機が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談してください。